

これだけの声が集まりました

第1回ワークショップ（3地区・役場職員）と、参加できなかった方向けのアンケート（一般・小中学生）で、伊仙町の「らしさ」に関する意見を集めました。



235

名

参加者・回答者

ワークショップ 42名
アンケート 193名



571

件

伊仙町らしいもの

ワーク+アンケート回答
（項目分解後）



297

件

モチーフのアイデア

形・イメージの回答



261

件

色のイメージ

伊仙町らしい色の回答

参加者・回答者数の内訳

9

東部

12

中部

6

西部

15

役場職員

45

一般

148

小中学生

回答をカテゴリと地区・属性ごとに分類しました

以下は一部の抜粋です。このような形で全回答をカテゴリに仕分けて集計しました。

カテゴリ	具体的な回答	件数	東部	中部	西部	役場職員	一般	小中学生
自然・海・山・景色	海	86	5	7	4	7	3	60
自然・海・山・景色	自然	43	1	3	2	4	13	20
自然・海・山・景色	海がきれい	9	1			3		5
自然・海・山・景色	犬田布岬	6			2	1	1	2
自然・海・山・景色	夕日・朝日	5		1		3	1	
自然・海・山・景色	青い海	5			1	1	2	1
自然・海・山・景色	山	4		2		1		1
自然・海・山・景色	緑	4		1	1	1	1	
自然・海・山・景色	景色がキレイ	4			1	2		1
自然・海・山・景色	ガジュマル(阿権)	5	1				4	
自然・海・山・景色	鍾乳洞・洞窟・海中遺跡	3	3					
自然・海・山・景色	沖永良部島が見える	1	1					
自然・海・山・景色	パワースポットが多い	1	1					
自然・海・山・景色	トレイルのコース	1	1					
自然・海・山・景色	自然と暮らしのキョリの近さ	1		1				

「伊仙町らしいと思うものは？」

伊仙町を表すハッシュタグ・伊仙町を一言で紹介するなら

伊仙町らしいと思うものは？

No.4

571

件の回答（項目分解後）

65

東部

98

中部

53

西部

101

役場職員

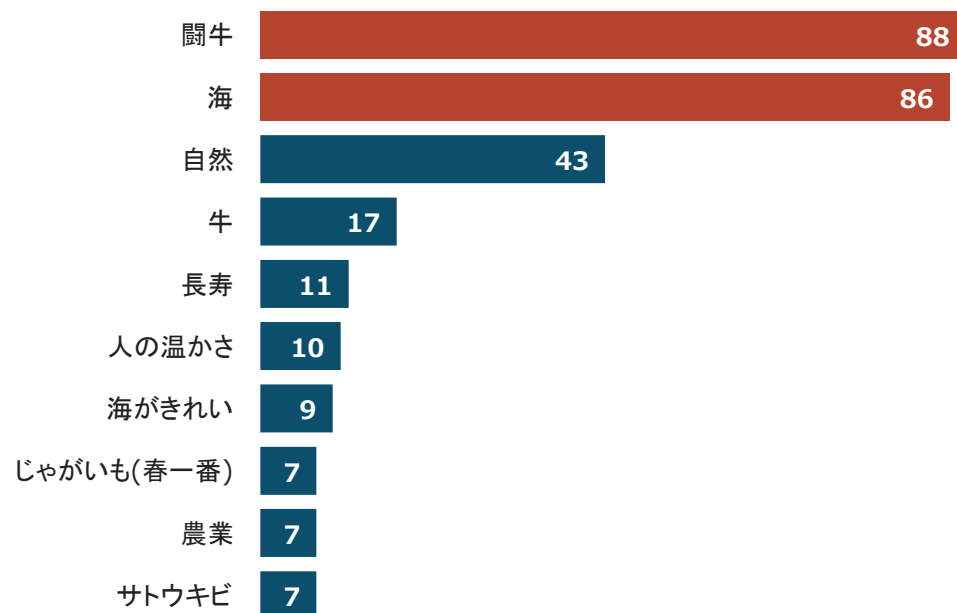
75

一般

179

小中学生

キーワードTOP10



11位以降

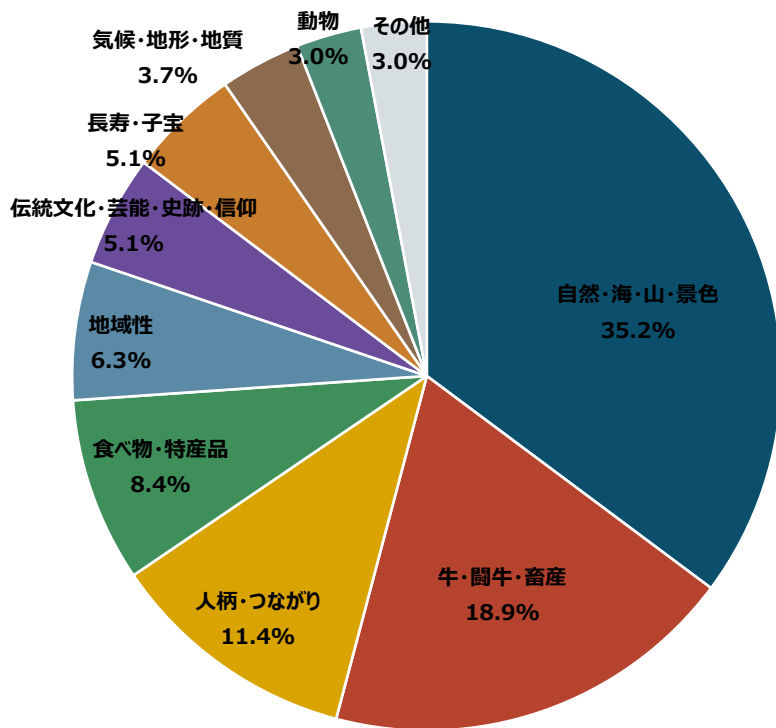
11	犬田布岬	6
12	夕日・朝日	5
12	青い海	5
12	ガジュマル	5
12	島口(方言)	5
12	人情	5
17	山	4
17	緑	4
17	景色がキレイ	4
17	熱い・暑い	4
17	赤土	4
17	黒糖	4
17	島唄	4
17	つながり	4
17	畑のある風景	4
26	鍾乳洞・洞窟・海中移籍	3
26	琉球石灰岩	3
26	生き物の種類が多い	3
26	伝統芸能がさかん	3
26	子宝	3

闘牛（88件・15.4％）と海（86件・15.1％）がほぼ並んで最多

伊仙町らしいと思うものは？

No.5

カテゴリ別に見ると



「自然・景観」と「牛・闘牛」が、全体の半分超（54%）を占めます。

地区・属性による傾向

東部

伝統文化・芸能・史跡・信仰



歴史・信仰・方言など歴史軸の回答が全体平均の3.6倍と突出。

中部

地域性



地域性が2.3倍。暮らしやすさなど生活実感に根ざした回答が多い。

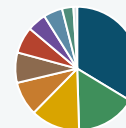
西部

動物



闘牛以外の動物が3.2倍。長寿・子宝も2.6倍。

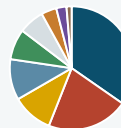
役場職員

食べ物・特産品
気候・地形・地質

気候・地形・地質が2.2倍、食べ物・特産品が1.9倍。

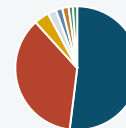
一般

地域性



突出したカテゴリは少なく、バランス型。地域性が1.7倍とやや高め。

小中学生

自然
牛・闘牛・畜産

自然と牛・闘牛に極端に集中。この2カテゴリだけで回答の88%を占めている。

留意したい少数意見

「長寿や子ども、闘牛は徳之島全体の特徴で、伊仙町固有の『らしさ』には適さない」という意見が1件。TOP項目（闘牛・長寿・子宝）を使う際は、「なぜ伊仙町固有と言えるか」を考えておくとも良いかもしれません。

伊仙町を表すハッシュタグは？（一般アンケート）

No.6

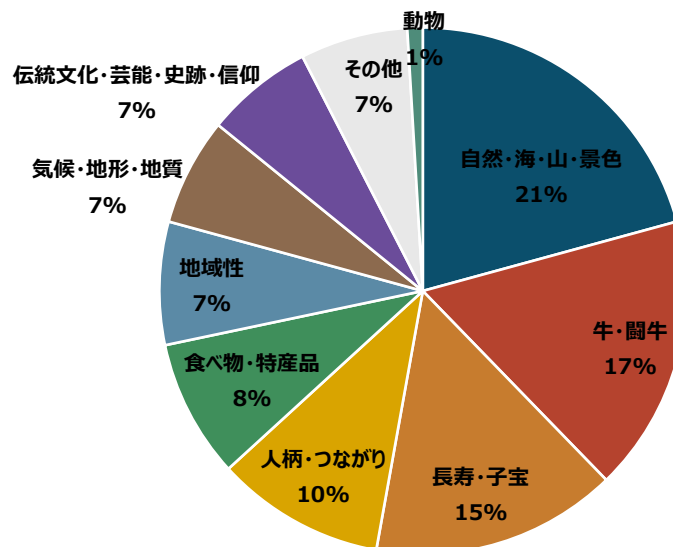
一般アンケート回答者39名から、ハッシュタグのアイデアが106件集まりました（1人で複数案の方も多数）。東部・中部・西部・役場職員・小中学生はこの質問の対象外です。

上位ワード

1 闘牛	14件	9 瀬田海	2件
2 ガジュマル	6件	9 きれいな海	2件
3 犬田布岬	4件	9 ワイドワイド	2件
3 南の島	4件	9 サトウキビ	2件
3 長寿の町	4件	9 黒糖	2件
3 長寿	4件	9 じゃがいも	2件
7 南国	3件	9 特攻	2件
7 泉重千代さん	3件	16 喜念浜	1件

闘牛が独走している点は「らしいと思うもの」と同じですが、「海」「自然」という抽象語で終わらず固有名詞レベル（犬田布岬、泉重千代など）でアイデアが出ています。

カテゴリ別の内訳



「らしいと思うもの」との比較

5.1% → 15.2%

「らしいと思うもの」5.1%（9位）

ハッシュタグ 15.2%（3位）

「長寿・子宝」の急上昇

海や闘牛のように日常的に実感する「らしさ」に対して、長寿・子宝は、対外的に発信したい「タグ（ブランド）」という直感があるようです。

個別回答

ネーミングの方向性そのものを提案する声：「『きゅら』のように、伊仙町ならではの美しさを表現し、かつ島口の美しさが伝わるような語感の良い言葉を取り入れるのが理想的」

伊仙町を一言で紹介するなら？（小中学生アンケート）

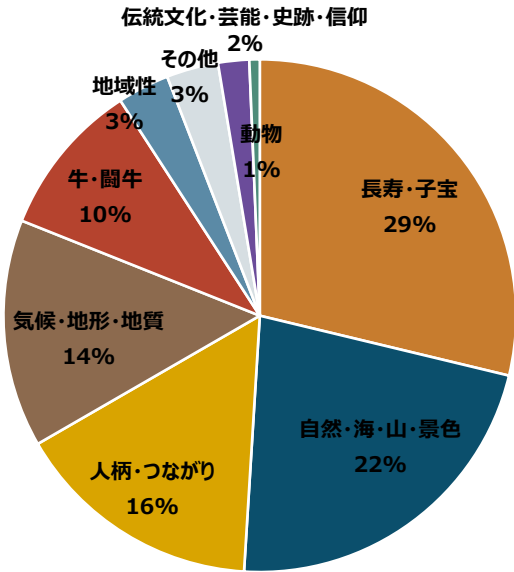
小中学生のアンケート回答者148名から、一言紹介が153件（ほぼ1人1件）集まりました。他の属性は含まれません（小中学生のみのデータ）。

上位ワード

1 長寿の町	28件	9 自然の町	2件
2 南の島	19件	9 自然豊かで友情厚い町	2件
3 闘牛の町	7件	9 世界自然遺産	2件
4 自然の島	4件	9 海の島	2件
5 自然	3件	9 闘牛の島	2件
6 豊かな町	3件	9 闘牛	2件
7 長寿	3件	9 豊かな島	2件
8 子宝の島	3件	9 明るい町	2件

「南の島」（19件）が2位に入っているのが特徴的。一般のハッシュタグ集計でも「南の島」「南国」が上位に入っており、「南国感」が発信のイメージとして持たれているようです。

カテゴリ別の内訳



3つの質問の比較

質問	1位カテゴリ	牛・闘牛	長寿・子宝
伊仙町らしいと思うのは（実感ベース）	自然（35.2%）	2位・18.9%	9位・5.1%
ハッシュタグ（一般・発信ベース）	自然（20.8%）	2位・17.0%	3位・15.1%
一言紹介（小中学生・発信ベース）	長寿・子宝（28.8%）	5位・9.8%	1位・28.8%

「日常的に実感する伊仙町らしさ」では闘牛と自然が主役ですが、「一言で紹介する・発信する」場面になると、一般・総中学生ともに、長寿・子宝が上位にあがっていきます。特に小中学生で、その傾向が顕著です。

「なぜ伊仙町らしいと思いますか？」

なぜ伊仙町らしいと思いますか？

No.9

ワークショップ参加者から202件の理由が集まりました。一般・小中学生はこの質問に回答していません（アンケート様式に含まれていないため）。

202

件の理由

35

東部

58

中部

35

西部

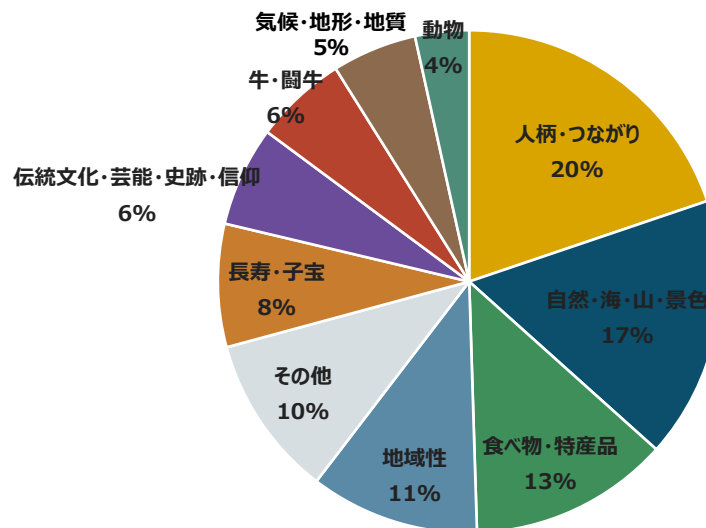
74

役場職員

代表的な回答例

人柄・つながり	「個性が強い」
自然・海・山・景色	「手つかずの自然が身近にある」
食べ物・特産品	「さとうきびが産業に変わった」
地域性	「集落行事が多め」
その他	「所さんTV、伊仙町だけ1時間もった」
長寿・子宝	「関心事が子に向けられる」
伝統文化・芸能等	「昔ながらの習慣や文化が根づいている」
牛・闘牛	「血が騒ぐ」
気候・地形・地質	「石灰岩でできている大地」
動物	「そこに行かないと会えない動物」

カテゴリ別の内訳



「伊仙町らしいと思うのは」と「なぜなら」の比較

	「らしいと思うもの」		「なぜなら」
自然・海・山・景色	1位・35.2%	→	2位・16.8%
牛・闘牛・畜産	2位・18.9%	→	8位・5.9%
人柄・つながり	3位・11.4%	→	1位・19.8%

「伊仙町らしいのは？」では自然が1位（35.2%）、牛・闘牛が2位（18.9%）でしたが、理由を聞くと自然は2位（16.8%）を維持する一方、牛・闘牛は8位（5.9%）まで急落。逆に3位だった人柄・つながり（11.4%）が、理由では1位（19.8%）に上がります。

「人柄・つながり」のコメント一例

移住者をあたたかく受け入れてくれる	知らない人でも声をかけてくれる	おすそ分けで新たな交流が生まれる	家族・地域のきずなが強い
近所付き合い・つながりがある	丁寧すぎない話し方・距離感の近さ	世話好きな人が多い	共助・助け合いの精神
3人いれば必ずどこかで親戚がいる	よそ者・新しい挑戦に前向き	高齢者にはおもてなし精神が残っている	いろんな人が話しかけてくれる、ニコニコしている
家一軒一軒とのつながりがある	支える人を支える人になれば最高	郷土を誇りに思う	地元LOVEが多い
人の温かさ（あいさつで笑顔で迎えてくれる）	人を大切にする	すぐ友達になれる	人のことをほっとけない
思ったことを言い合える	多世代で触れる機会が多い	あたたかい気持ちになる	おおらかでやすらぎを感じる

人柄・つながり（40件）の内訳は、同じコメントが複数寄せられているわけではなく、多様なエピソードが集まりました。**共通しているのは「人と人との距離の近さ」です。**

「そこにある価値は？」

そこにある価値は？

No.12

ワークショップ参加者から、132件の「価値」に関する回答が集まりました。「なぜなら」に続き、「そこにある価値」でも人柄・つながりが1位です。

132

件の価値

26

東部

44

中部

21

西部

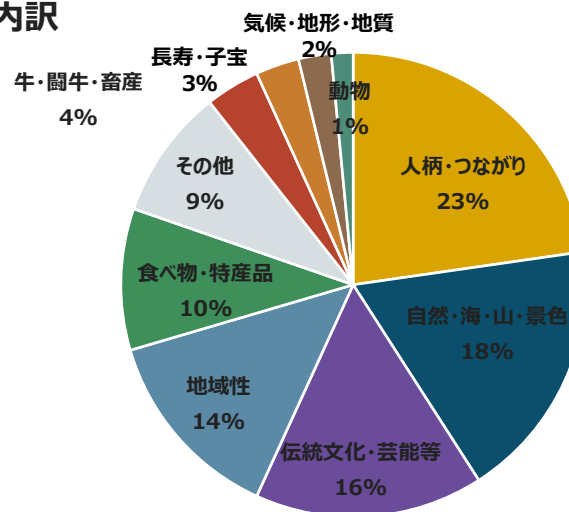
41

役場職員

代表的な回答例

人柄・つながり	「すべては人が創る」
自然・海・山・景色	「いやされる」
伝統文化・芸能等	「歴史的重要度が高い」
地域性	「ちょうどいい不便さ」
食べ物・特産品	「農業は自然と生きる人本来の生き方」
その他	「当たり前すぎるがそこに価値がある」
牛・闘牛・畜産	「みんな牛に愛着がある」
長寿・子宝	「子は宝という認識が根づいている」
気候・地形・地質	「独特な地形・地質」
動物	「アカショウビンの鳴き声で朝を感じる」

カテゴリ別の内訳



「なぜなら」と「そこにある価値」の比較

	「なぜなら」		「そこにある価値」
人柄・つながり	1位・19.8%	→	1位・22.7%
自然・海・山・景色	2位・16.8%	→	2位・18.2%
食べ物・特産品	3位・12.9%	→	5位・9.8%
伝統文化・芸能等	7位・6.4%	→	3位・15.9%

人柄・つながりと自然は、どちらの質問でも上位2位のまま安定しています。一方、「なぜなら」では3位だった食べ物・特産品が「価値」では5位に後退し、逆に7位だった伝統文化・芸能等が3位まで急上昇。「価値」を問われると、歴史や信仰といった精神性に話が向かう傾向が見えます。

「人柄・つながり」のコメント一例

「なぜなら」同様、多様な言葉で「人」の価値が語られています。

ルーツ(地元)・プライド

楽しいことを追求し
自分の役割の中で生きている

心にゆとりがある

飾らないありのまま

「伝統文化・芸能・史跡・信仰」のコメント一例

単なる文化紹介ではなく精神性・歴史性を語る言葉が並びます。

先人から受け継がれた島の心・文化
を未来につなぐ

八百万の神々がいる

神を感じられる、歴史を感じられる

伝統文化を継承・大切にしている

先祖代々の土地を守っている

ここにしかない文化

先祖を大切にする

昔から変わらないもの

「なぜ伊仙町らしいか」を聞かれると具体的な理由を答えるのに対し、「その価値は何か」を聞かれると、**歴史や信仰といったより深い精神性に意識が向かう**、という傾向が見られます。

「伊仙町らしい形やモチーフは？」

伊仙町らしい形やモチーフは？

No.15

297

件

9

東部

19

中部

11

西部

19

役場職員

67

一般

172

小中学生

モチーフトップ20

1 牛	97件	11 クジラ
2 海	20件	12 ウミガメ
3 太陽	14件	13 自然
4 アマミノクロウサギ	11件	14 ハート
5 ハイビスカス	10件	15 牛の角
6 ガジュマル	9件	16 夕日
7 鳥(アカショウビン等)	8件	17 じゃがいも
8 ハブ	7件	18 ひまわり
9 サトウキビ(畑)	7件	19 結
10 闘牛	6件	20 犬田布岬の慰霊塔

カテゴリ別の内訳

※これまでのカテゴリ分けとは異なる分類

6件	動物 (49.8%)	148
5件	自然・海・山・景色 (21.2%)	63
4件	植物 (12.1%)	36
4件	図形 (5.4%)	16
4件	人柄・つながり (4%)	12
3件	地域性 (2.7%)	8
3件	食べ物・特産品 (1.3%)	
3件	伝統文化・芸能・史跡・信仰 (1%)	
3件	その他 (1%)	
3件	長寿・子宝 (0.7%)	

動植物のモチーフが多数挙がる

- ・植物(ガジュマル・じゃがいも・ハイビスカス)と、動物がモチーフとして多く挙がっており、伊仙町＝自然物のイメージが強い傾向です。
- ・単独の「牛」だけで**97件 (全体の32.7%)**。闘牛(6件)・牛の角(4件)を含めると107件(36.0%)に達します。
- ・**動物カテゴリ全体(148件・49.8%)**は牛を中心に、アマミノクロウサギ(11件)、鳥類(8件)、ハブ(7件)が続く構成です。
- ・「ハート」「直方形」など図形を挙げる回答も多くありました。

その形やモチーフを挙げた理由は？

No.16

ワークショップ参加者から37件の理由が集まりました。一般・小中学生のアンケートにはこの項目を設けていません。

37

件の理由

10

東部

9

中部

8

西部

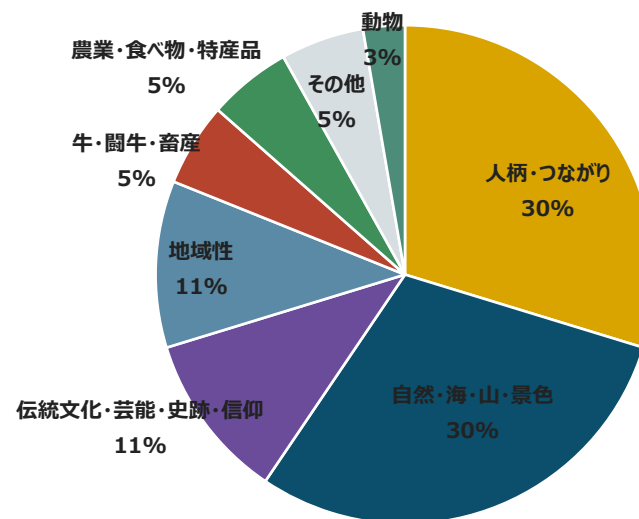
10

役場職員

モチーフの理由トップ20

1 あったかい感じ（心）	2件	5 一生懸命がんばれる	1件
1 よく見かける	2件	5 熱血	1件
1 300年ガジュマルがあるから	2件	5 助け合い（結）	1件
1 町花だから	2件	5 自然と共存している	1件
5 人を尊ぶ心	1件	5 奄美群島内で一番多い気がする	1件
5 優しさ	1件	5 普段はやさしい風	1件
5 情にあつい	1件	5 町木	1件
5 自由	1件	5 町草だから	1件
5 おおらかだから	1件	5 闘牛の闘いの面白さにつながる	1件
5 明るい	1件	5 激しい	1件

カテゴリ別の内訳



理由で挙げた特徴的な声

・制度的な理由

「町花だから」「町木」「町草だから」など、すでに公式の島のシンボルであることを理由に挙げる声が複数（自然・海・山・景色カテゴリの理由の多くがこれ）。感情的な結びつきというより、「すでに決まっている」という制度的な正しさが理由になっているケースです。

・人柄・つながりの理由

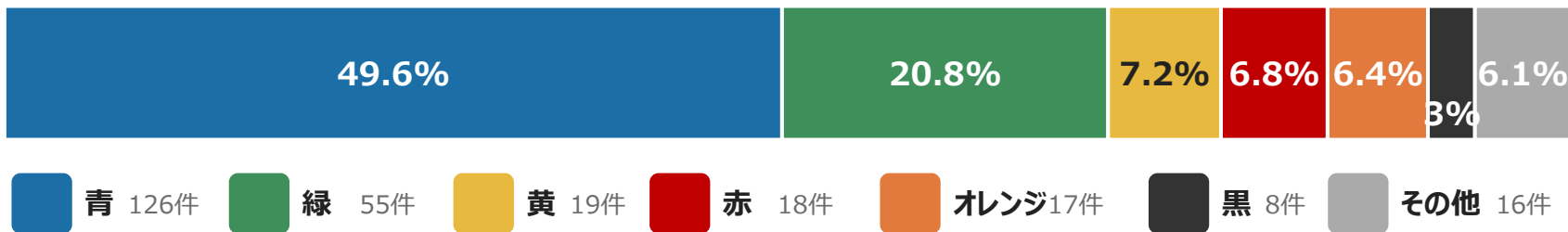
「あったかい感じ（心）」「優しさ」「情にあつい」「おおらかだから」「一生懸命がんばれる」「助け合い（結）」など、これまでと同様に多様な言葉が並びます。

「伊仙町らしさを色で表すなら？」

伊仙町らしさを色で表すなら？

No.18

261件の回答が集まりました（東部5・中部14・西部7・役場職員11・一般52・小中学生172）。



※「その他」は白・茶・紫・ピンク・虹・灰など少数回答をまとめた区分です。

色は「海・自然」が多数

モチーフでは「牛」が圧倒的でしたが、色では一転して**青（49.2%）と緑（20.7%）で全体の約70%を占めます**。モノを思い浮かべるときと、印象・雰囲気を感じるときで、伊仙町イメージが切り替わっているように見えます。

「青」の内訳：ほぼ海のバリエーション

「青」（67件）以外に、「海みたいな青」「マリンブルー」「濃い青」「水色」「スカイブルー」「コバルトブルー」「澄んだ青色」「群青」など、海を意識した表現が多数。

「緑」の内訳：山と畑

「緑」（36件）の他、「エメラルドグリーン」（10件）「濃い緑」（3件）「青緑」（2件）「黄緑」（2件）と続く。海ほどバリエーションはなく、山・畑・自然全体を包括した緑という印象。

少数意見

暖色系（黄7.1%・赤6.8%・オレンジ6.4%）は太陽・夕日・サトウキビ・黒糖などの島の恵みを象徴。茶の内訳には「茶色（牛・アンダギー）」、灰には「灰色（カムイヤキ）」がある。

その色を挙げた理由は？

No.19

ワークショップ参加者から37件の理由が集まりました。一般・小中学生のアンケートにはこの項目を設けていません。

37

件の理由

14

東部

8

中部

9

西部

6

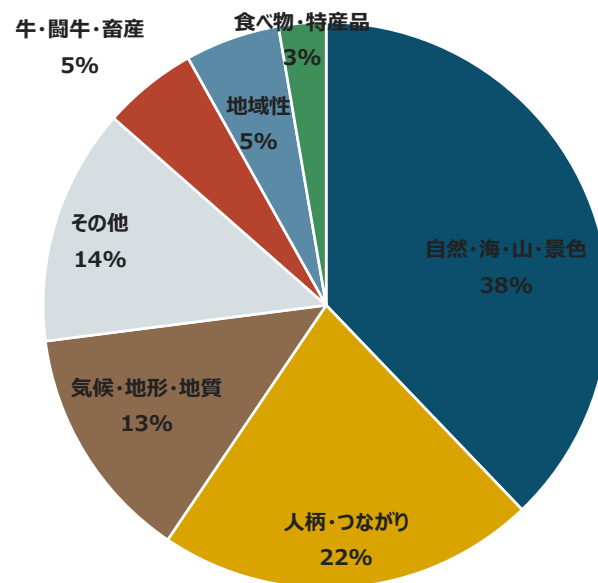
役場職員

色の理由トップ10

- 1 海
- 2 空
- 3 情熱
- 3 赤土の色
- 5 森の緑（色が深い）
- 5 太陽
- 5 あたたかさ（人）
- 5 町章だから
- 9 優しい
- 9 いろんな色に染まりやすい

- 5件
- 4件
- 3件
- 3件
- 2件
- 2件
- 2件
- 2件
- 1件
- 1件

カテゴリ別の内訳



色の理由詳細

自然・海・山・景色（37.8%）：「海」「空」「森の緑」「太陽」など、色を見たままに答えています。

気候・地形・地質（13.5%）：伊仙町・徳之島特有の「赤土」が、赤・オレンジを選ぶ理由として挙がっており、地理的特徴に根ざしています。

人柄・つながり（21.6%）：「情熱」「あたたかさ（人）」「優しい」「激しさ」など、色に人の気質や感情を投影する回答が目立ちます。

まとめ

「伊仙町らしいと思うもの」「なぜなら」「価値」「モチーフ」「色」……9つの問いを重ねてみると

伊仙町らしさには3つの層がある

見えている「らしさ」

海・自然・闘牛・牛——目に映るもの、体験できるもの

「らしいと思うもの」では自然（35.2%）、牛・闘牛（18.9%）が上位。モチーフを聞くと牛が1位（97件・全体の32.7%）に、色を聞くと青・緑（海・自然）が約7割を占める。問い方が変わっても、「見た目」は自然物に帰着する。

その奥にある「らしさ」

人柄・つながり——なぜそう思うか、その価値を掘り下げて見えるもの

「なぜなら」「そこにある価値」では、ともに人柄・つながりが1位に浮上。モチーフの理由でも牛そのものの説明はほとんどなく、人柄・自然が理由の中心。表層がどの質問でも、「なぜ」を聞くと「人」に行き着く。

言葉にした「らしさ」

長寿子宝・歴史信仰——外に向けて語るとき、選ばれる言葉

ハッシュタグ・一言紹介では長寿・子宝が急上昇し、小中学生では28.8%で1位に。「そこにある価値」では伝統文化・歴史が7位→3位へ急上昇。発信・意味づけの場面では、日常の実感（闘牛・海）ではなく、長寿子宝や歴史信仰が選ばれる。